

J Aバンク宮城における 地域密着型金融の 取組状況（2020年度）

2021年9月

J Aバンク宮城

はじめに

- ✓ J Aバンク宮城では、農業と地域社会に貢献するため、2019年～2021年度 J Aバンク宮城中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- ✓ 2020年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、報告いたします。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

災害等の被害を
受けた方への支援

食・農への
理解促進

目次

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
 - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発
 - (2) 担い手のニーズに応えるための取組み
2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援
 - (1) 次世代農業者の育成支援
 - (2) 農業法人とのネットワーク拡大
 - (3) 経営不振農家の経営改善支援
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底
 - (1) 資本供与の仕組み（ファンドの活用）
 - (2) 負債整理資金による経営支援
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献
 - (1) 災害等の被害を受けた方への支援
 - (2) 食・農への理解促進

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化

- ▶ J Aバンク宮城は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

1. 地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2. 経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

経営改善支援

3. 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4. 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

災害等の被害を
受けた方への支援

食・農への
理解促進

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- ✓ JAバンク宮城は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

プロパー農業資金

【農業関係資金残高】

453.1億円

※農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金が含まれています。

【日本政策金融公庫等

受託貸付金残高】

38.2億円

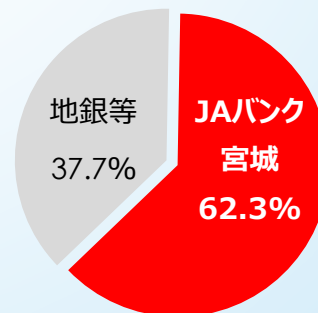
※JAバンク宮城が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取扱いを行っています。

制度資金

- ①「農業近代化資金」
- ②「日本政策金融公庫資金」
(公庫直貸除く)

取扱シェア宮城県トップ

【宮城県の農業近代化資金取扱シェア】



(2020年12月末時点) 出所：宮城県

JAバンク宮城における地域密着型金融の取組状況 (2020年度)

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

営農類型		2021年3月末
農業	穀作	6,557
	野菜・園芸	1,190
	果樹・樹園農業	127
	工芸作物	19
	養豚・肉牛・酪農	4,506
	養鶏・鶏卵	57
	養蚕	0
	その他農業 (注1)	15,210
	農業合計	27,664
農業関連団体等 (注2)		17,653
合計		45,317

(注1) 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、J Aや全農およびその子会社等が含まれています。

なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種類		2021年3月末
プロパー農業資金 (注3)		40,985
制度資金	農業近代化資金	3,923
	その他制度資金 (注4)	409
	制度資金合計 (注5)	4,332
合計		45,317

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種類	2021年3月末
日本政策金融公庫資金 (注6)	3,826
その他	0
合計	3,826

(注3) 「プロパー農業資金」とは、J Aバンク宮城原資の資金を融資しているものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

(注4) 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金 (スーパーS資金) や、農業経営負担軽減支援資金等が該当します。

(注5) 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJ Aバンク宮城が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJ Aバンク宮城が低利で融資するものを対象としています。

(注6) J Aバンク宮城では、主にはJ Aを窓口として日本政策金融公庫資金等の受託貸付金を取り扱っています。

7 (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

- ✓ J Aバンク宮城では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- ✓ 農林中央金庫仙台支店では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター」を構築し、下記の取組み等の機能拡充、強化に努めています。

担い手金融リーダーの設置

- J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応を実施しています。
- それを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を配置しています。
- 2021年3月末時点では、JAバンク宮城全体で25名配置しています。

J Aバンク農業金融プランナーの設置

- J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しています。
- 農業融資の実務に則した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化、専門化する農業者の金融ニーズに応えていきます。
- 2021年3月末時点では、JAバンク宮城全体で168名が資格を保有しています。

JAバンク宮城農業金融センターの運営

- 農林中央金庫仙台支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

J A内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、信用部門と営農・経済部門との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上にJ A内事業間連携を強化しています。

農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

- J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様の満足度をお聞かせいただいています（農業メインバンクCS調査）。
- 調査結果を活用しながら、農業者の声により応えることができるよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2.担い手の経営のライフステージに応じた支援

- ▶ J Aバンク宮城は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

災害等の被害を
受けた方への支援

食・農への
理解促進

(1) 次世代農業者の育成支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。**

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件, 百万円)

	2020年度 実行件数	2020年度 実行金額	2020年度末 残 高
青年等就農資金	13	151	717
J A新規就農応援資金	0	0	5
合計	13	151	722

【具体的取組事例】 – 次世代農業者の育成支援

J Aグループ宮城 農業機械大展示会 2020					
1. 経緯	<p>J Aグループ宮城は、担い手に対して営農活動に資する情報やコスト低減対策等を提案するため、全農みやぎや農機メーカーと連携して本イベントを共催しました。</p> <p>今年度については新型コロナウイルス感染症の影響によりブース設置は行わず、また参集範囲を縮小しての開催となりました。来場者への J Aバンク宮城の取組を紹介するチラシ配布等を通じてJAバンクの活動周知・知名度の向上に努めました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年6月のイベントについては開催中止となりました。</p>				
2. 概要	<table border="1"> <tr> <td>日時/場所</td> <td>2020年11月18日、19日 夢メッセみやぎ</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>1,557名</td> </tr> </table>	日時/場所	2020年11月18日、19日 夢メッセみやぎ	参加人数	1,557名
日時/場所	2020年11月18日、19日 夢メッセみやぎ				
参加人数	1,557名				
3. 成果	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 来場者に農業資金ならびに各種助成事業案内のチラシや J Aバンクグッズを進呈し、J Aグループの取組みを紹介しました。 ✓ 各連チラシ提供ブースへ日本農業経営大学校の入試案内を提供し、来場者に情報提供を行いました。 				

(2) 農業法人とのネットワーク拡大

- ✓ **J Aバンク宮城では、宮城県農業法人協会・全農宮城県本部と三者間連携協定を締結し、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。**

農業法人会の設立

- 県下 J Aにおいて、管内の農業法人により構成される協議会を立ち上げ、農業法人の設備投資や経営の効率化、農畜産物の付加価値向上等、法人が抱える諸課題の解決を支援するための取り組みを行っています。

農業法人協会との連携

- 農林中央金庫は、公益社団法人日本農業法人協会と包括的なパートナーシップ協定を締結しています。
- 農林中央金庫仙台支店は、2016年度に宮城県農業法人協会、全農宮城県本部と三者間連携協定を締結し、ネットワークの拡大、関係強化に取り組んでいます。
- 農林中央金庫仙台支店は、宮城県農業法人協会とともに水稻農業におけるスマート農業導入の経営効果を実証するプロジェクトを実施するにあたり、2020年3月には発足式を行いました。

宮城県農業会議への参画

- 農林中央金庫仙台支店は、2015年度に宮城県農業会議の会員に加入しました。
- 担い手の経営支援、新規就農支援、農地転用にかかる許可等の事業に参画し、J Aグループの事業との連携や情報交換に取り組んでいます。

【具体的取組事例】 – 農業法人とのネットワーク拡大
【2020年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催月	主催者	J Aバンクの 関わり方	対象 参加者	参加者数	内容
宮城県農業法人セミナー	2020年 12月	宮城県 農業法人 協会	共催	協会会員	46名	<ul style="list-style-type: none"> • BCP（事業継続計画）について • 新型コロナウイルスが変える農業
農業法人現地視察・ セミナー	2021年 3月	宮城県 農業法人 協会	共催	協会会員	35名	<ul style="list-style-type: none"> • ドローンに関する研修 • 登米地域農業法人最新事例紹介 • スマート農業“経営効果”実証プロジェクト発足式

(3) 経営不振農家の経営改善支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、負債整理資金の対応にあたり再生計画の策定支援や、経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。**

【農業者の経営改善支援取組実績】

(単位：件)

区分	経営改善 支援取組先 (注1) a	aのうち再生 計画策定先 b	aのうちランクアップ 先 (注2) c	aのうち債務者区 分不変先 (注3) d	事業計画策定率 b/a	ランクアップ率c/a
正常先	0	0	-	0	-	-
要注意先	0	0	0	0	-	-
うち要管理先	2	1	1	1	50.0%	50.0%
破綻懸念先	3	3	1	2	100.0%	33.3%
実質破綻先	14	1	0	13	7.1%	0.0%
破綻先	0	0	0	0	-	-
合計	19	5	2	16	26.3%	10.5%

(注1) 経営改善支援取組先は、J A・農林中央金庫仙台支店が再生計画の策定等、経営改善支援に取り組んだ先として指定したものをいいます。

(注2) ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

(注3) 債務者区分不変先とは、当期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

- ▶ J Aバンク宮城では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

災害等の被害を
受けた方への支援

食・農への
理解促進

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

- ✓ J Aバンク宮城では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を応援しています。
- ✓ 上記の投資を行う「アグリビジネス投資育成株式会社」は、農業法人投資育成制度にかかる業務を行うため、J Aグループと日本政策金融公庫の出資により設立された法人です。
- ✓ 農業法人への出資等を通じて、その健全な成長発展を図り、もって農業の持続的な発展に寄与することを目的としています。

【農業者の経営改善支援取組状況】

（単位：件,百万円）

ファンド名	2018年度実績		2019年度実績		2020年度実績		累計実績(注1)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
アグリシードファンド	-	-	-	-	1	3	3	17
復興ファンド(注2)	-	-	1	10	-	-	22	289

(注1) ファンド創設からの累計実績を記載しております。

(注2) 復興ファンドの対象は、東日本大震災の被災企業を対象とします。

(2) 負債整理資金による経営支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。**

【農業者の経営改善支援取組状況】

資金名	2021年3月末残高（百万円）
農業経営者負担軽減支援資金（注1）	29
畜産特別資金（注2）	89
負債整理資金	181
その他	1
合計	300

（注1）農業経営者負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J A等の融資機関において取り扱っています。

（注2）畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J A等の融資機関において取り扱っています。

4.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

- ▶ J Aバンク宮城は、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

災害等の被害を
受けた方への支援

食・農への
理解促進

(1) 災害等の被害を受けた方への支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、東日本大震災等、全国各地での災害等の被害を受けた方を支援するため、災害対策窓口を設置しているほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。**

東日本大震災特別対策利子補給

- 県下 J Aにおいては、東日本大震災で被害を受けた農業者の復旧・復興のため、東日本大震災関連の県災害資金・JA独自災害資金に対し利子補給を行っています。

2019年度台風19号災害対策関連資金に対する利子補給

- 2019年度台風19号によって発生した被害からの復興支援として、県の災害資金のほかに低金利の J A独自災害資金を創設しています。
- これらの県災害資金と J A独自災害資金に対し、J Aバンク宮城では被災農業者の負担を軽減するために利子助成を行っています。

アグリエール資金（新型コロナウイルス感染症対策）

- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大による農業者支援のため、資金を創設し J Aグループおよび行政で利子補給を行っています。

新型コロナウイルス対策保証料助成

- 県下 J A においては、新型コロナ対策にかかる農林業経営サポート資金およびアグリエール資金を対象に、保証料助成を行っています。

災害対策関連資金に対する利子補給

- 農林業災害対策資金および経営サポート資金について、新型コロナウイルス感染症および2021年12月16日以降に発生した大雪を指定災害として利子補給を行っています。
- 行政の利子補給に加え、農林中央金庫、全農宮城県本部、共済連宮城県本部は、J Aグループ宮城として上乗せ利子補給を行うことにより、末端金利0.0%で対応しています。

(2) 食・農への理解促進

- ✓ J Aバンク宮城は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布を実施しています。

教材「農業とわたしたちの暮らし」配布

- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンク宮城を通じて、2020年度には県下の小学校へ計22,700冊、特別支援学校へ計350冊配布され、学校の授業において活用されています。